

2007年度 決算説明資料

—2008年5月9日—

京王電鉄株式会社

本日の内容



I. 2007年度の業績 P. 3

II. 対処すべき課題と取組み P. 19

III. 2008年度の業績予想 P. 39

I . 2007年度の業績

1. 連結損益計算書

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減額	増減率
連結営業収益	430,197	429,190	△ 1,007	△ 0.2 %
連結営業利益	42,298	41,941	△ 357	△ 0.8
連結経常利益	36,795	38,872	2,076	5.6
連結当期純利益	21,539	18,129	△ 3,410	△ 15.8
連結EBITDA	71,390	72,381	991	1.4

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	+ 23億円	+ 19億円	△ 34億円	+ 1億円	△ 24億円
(営業利益)	△ 2億円	+ 10億円	△ 6億円	+ 0億円	△ 5億円

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。
 2. 事業セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

主な業績の変動要因

[連結営業収益・営業利益]

< 運輸業 - 増収減益 >

- (鉄道事業) 輸送人員の増
設備投資に伴う減価償却費の増

< 流通業 - 増収増益 >

- (ストア業、書籍販売業) 新店効果

< 不動産業 - 減収減益 >

- (不動産販売業) 前期に大型物件の販売

< レジャー・サービス業 - 増収増益 >

< その他 - 減収減益 >

- (建築・土木業) 完成工事の減
- (車両整備業) 大型契約の終了

[連結当期純利益]

- (特別損失) 減損損失の増

2. 連結貸借対照表

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減額
総 資 産	648,161	660,161	12,000
負 債	401,531	415,976	14,444
純 資 産	246,629	244,185	△ 2,443
負債及び純資産	648,161	660,161	12,000

(総資産) 投資有価証券の時価評価による減
設備投資の進捗による有形固定資産の増

(負 債) 社債の発行

(純資産) 当期純利益の計上による利益剰余金の増
その他有価証券評価差額金の減

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

〈単位:百万円〉

	2007/3	2008/3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,086	56,881	7,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46,110	△ 59,428	△ 13,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,733	17,194	15,461
現金及び現金同等物の期末残高	43,516	58,167	14,650
有利子負債の期末残高	222,531	244,254	21,722

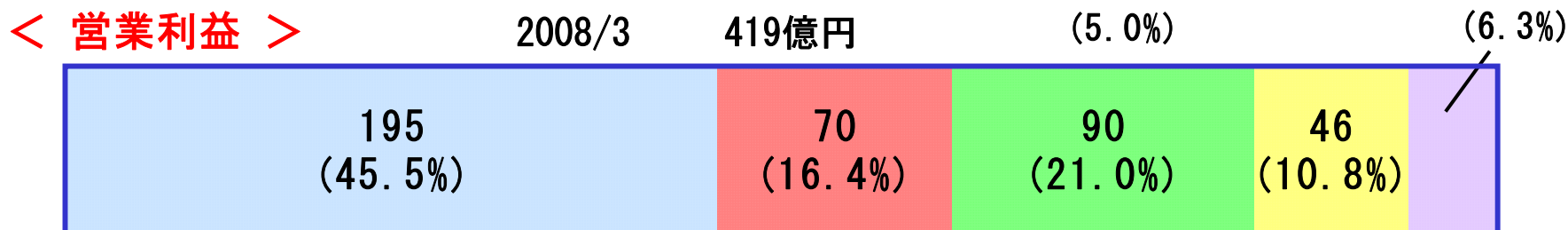
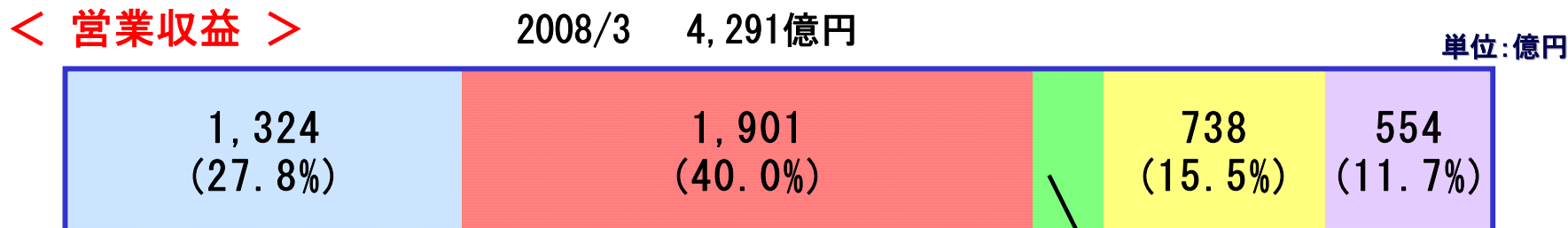
(営業活動CF)	減損損失の増	+31億円
	法人税等の支払額の減	+22億円
(投資活動CF)	有形固定資産の取得による支出	△ 174億円
(財務活動CF)	社債の発行	+ 44億円

(注) 有利子負債は、借入金+社債+鉄道・運輸機構未払金 により算出している。

1. 事業セグメントの構成状況 (2008年3月末)

< 連結会社 > 37社 (京王電鉄は複数の事業セグメントに重複して含まれている)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 7社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 6社	京王電鉄 京王不動産 京王地下駐車場	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 8社



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

2. 運輸業の実績

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減率
			%
鉄 道 事 業	81,238	82,902	2.0
バ ス 事 業	28,141	28,610	1.7
タ ク シ ー 業	14,604	14,665	0.4
そ の 他	3,101	3,156	1.8
外部顧客に対する営業収益	127,086	129,334	1.8
セグメント間取引	3,011	3,118	-
営 業 収 益	130,097	132,453	1.8
営 業 利 益	19,760	19,513	△ 1.3
減 価 償 却 費	17,154	18,272	6.5
資 本 的 支 出	33,662	50,020	48.6

鉄道事業運輸成績

	2007/3	2008/3	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	355,858	363,097	7,239	2.0
（ 通 勤 ）	265,076	272,275	7,199	2.7
（ 通 学 ）	90,782	90,822	40	0.0
定 期 外	257,362	269,291	11,929	4.6
合 計	613,220	632,388	19,168	3.1

旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	百万円	%
定 期	33,170	33,786	616	1.9
（ 通 勤 ）	29,510	30,160	650	2.2
（ 通 学 ）	3,660	3,626	△ 33	△0.9
定 期 外	44,995	46,166	1,171	2.6
合 計	78,165	79,953	1,787	2.3

鉄道輸送人員の分析

<対前期増減率の分析>

	対前期増減率		主な増減の要因
		特殊要因 控除後	
	%		
定期	2.0	1.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模マンションの建設の進捗 ○ PASMO導入に伴う集計方法変更 (特殊要因) ○ うるう年 (特殊要因)
(通勤)	2.7	1.9	
(通学)	0.0	△1.0	
定期外	4.6	2.0	
合計	3.1	1.5	

<沿線における大規模マンション建設>

	物件数／戸数	主な最寄駅
2006年度上期	4 物件／1,100戸	千歳烏山
2006年度下期	10物件／2,200戸	京王多摩センター 聖蹟桜ヶ丘
2007年度上期	2 物件／400戸	京王多摩センター
2007年度下期	7 物件／1,400戸	京王多摩センター 橋本

<ICカード利用率>

	2007年4月	2008年3月
定期	41.9%	75.3%
定期外	38.7%	64.1%
合計	40.2%	68.9%

※ Suicaによる利用を含む

※ 入居戸数100戸以上の分譲マンション (当社調査による)

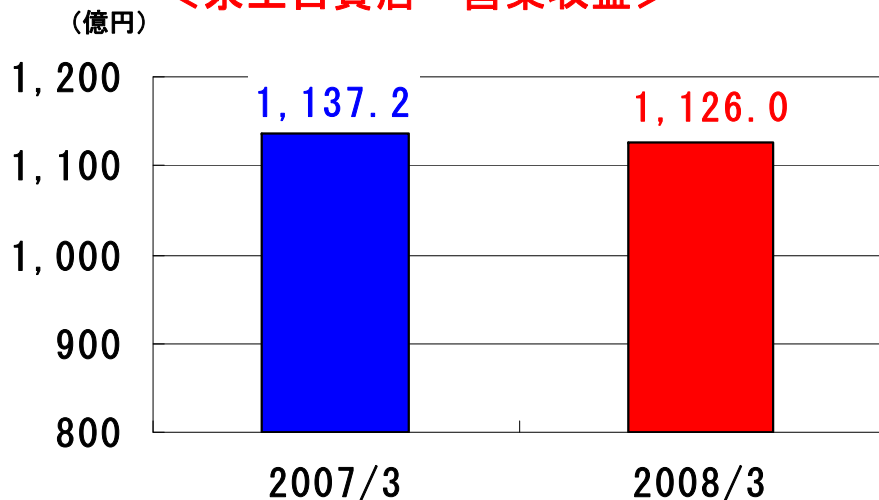
3. 流通業の実績

〈単位:百万円〉

	2007/3	2008/3	増減率
			%
百貨店業	111,628	110,620	△ 0.9
ストア業	39,761	40,865	2.8
書籍販売業	11,191	11,816	5.6
駅売店業	9,657	9,733	0.8
その他	13,472	14,402	6.9
外部顧客に対する営業収益	185,712	187,438	0.9
セグメント間取引	2,528	2,703	-
営業収益	188,240	190,141	1.0
営業利益	6,007	7,044	17.3
減価償却費	3,750	3,798	1.3
資本的支出	5,759	3,402	△ 40.9

京王百貨店・京王ストアの実績

<京王百貨店 営業収益>

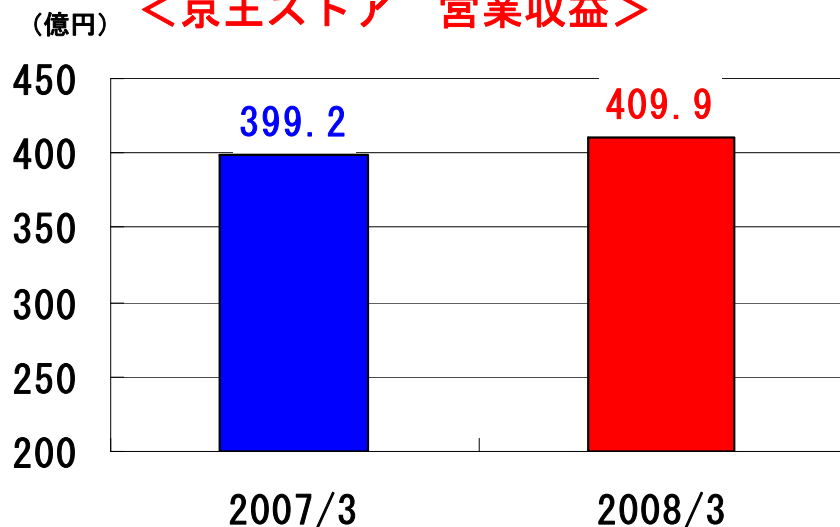


○営業収益(減収)：店頭売上の堅調
外商部門の減

新宿店の改装

- ・ 中地階食品フロア 2007年 4月
- ・ 6階家庭・文化用品フロア 2007年 9月
- ・ 5階紳士服・スポーツ用品フロア 2008年 3月

<京王ストア 営業収益>



○営業収益(増収)：新店効果

新規オープン

- ・ 稲城店 2006年 7月
- ・ 八幡山店 2006年10月
- ・ 高井戸店 2007年 3月
- ・ 東中野店 (キッチンコート) 2007年12月

4. 不動産業の実績

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減率
			%
不動産賃貸業	15,455	16,850	9.0
不動産販売業	8,485	3,303	△ 61.1
その他の	1,294	1,508	16.6
外部顧客に対する営業収益	25,235	21,662	△ 14.2
セグメント間取引	1,965	2,082	-
営業収益	27,201	23,745	△ 12.7
営業利益	9,690	9,013	△ 7.0
減価償却費	4,102	4,293	4.6
資本的支出	6,213	7,133	14.8

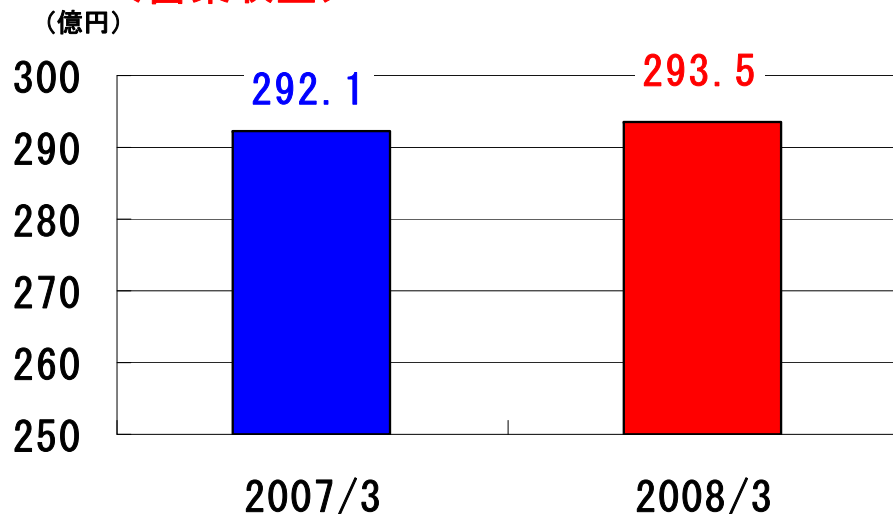
5. レジャー・サービス業の実績

〈単位:百万円〉

	2007/3	2008/3	増減率
			%
ホ テ ル 業	37,163	37,292	0.3
旅 行 業	18,706	18,641	△ 0.3
広 告 代 理 業	5,875	5,805	△ 1.2
そ の 他	6,349	6,676	5.1
外部顧客に対する営業収益	68,095	68,415	0.5
セグメント間取引	5,622	5,420	-
営 業 収 益	73,718	73,835	0.2
営 業 利 益	4,595	4,650	1.2
減 価 償 却 費	3,719	3,682	△ 1.0
資 本 的 支 出	1,898	4,969	161.7

京王プラザホテルの実績

<営業収益>



<新宿の営業実績>

○営業収益(増収) : <宿泊>室単価の向上

新宿の客室改装

- ・ 本館38~39階「プラザプレミア」へ56室
2007年10月

- ・ 本館27~29階 99室
2008年 2月

○客室稼働率

2007/3	2008/3
88.3%	86.9%

○室単価

(単位:円)

2007/3	2008/3	増減
16,389	17,204	815

6. その他の実績

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減率
			%
ビル総合管理業	8,666	8,775	1.3
車両整備業	6,453	5,761	△ 10.7
建築・土木業	8,171	7,015	△ 14.2
その他	776	787	1.4
外部顧客に対する営業収益	24,068	22,339	△ 7.2
セグメント間取引	33,865	33,112	-
営業収益	57,933	55,451	△ 4.3
営業利益	3,257	2,691	△ 17.4
減価償却費	381	1,114	192.2
資本的支出	1,342	1,031	△ 23.2

京王電鉄の損益計算書

〈単位：百万円〉

	2007/3	2008/3	増減額	増減率
				%
営業収益	120,931	119,463	△ 1,468	△ 1.2
営業利益	30,270	30,472	201	0.7
経常利益	23,919	26,250	2,330	9.7
当期純利益	14,671	11,531	△ 3,139	△ 21.4

(営業収益) 鉄道事業 + 17億円
 付帯事業 △ 31億円 (不動産販売業 △ 47億円)
 (不動産賃貸業 + 16億円)

(営業利益) 鉄道事業 △ 3億円
 付帯事業 + 5億円 (不動産賃貸業 + 15億円)
 (不動産販売業 △ 10億円)

Ⅱ. 対応すべき課題と取組み

対処すべき課題

鉄道事業における安全性と利便性向上策の継続

沿線価値向上策への取組み

経営体制を支える基盤整備

鉄道事業における安全性と 利便性向上策の継続

＜積極的な安全への取組み＞

- 運輸安全マネジメントの推進
- 立体交差化の推進
- 鉄道技術基準適合策の推進
- 駅施設・高架橋などの災害対策
- 車両の新造

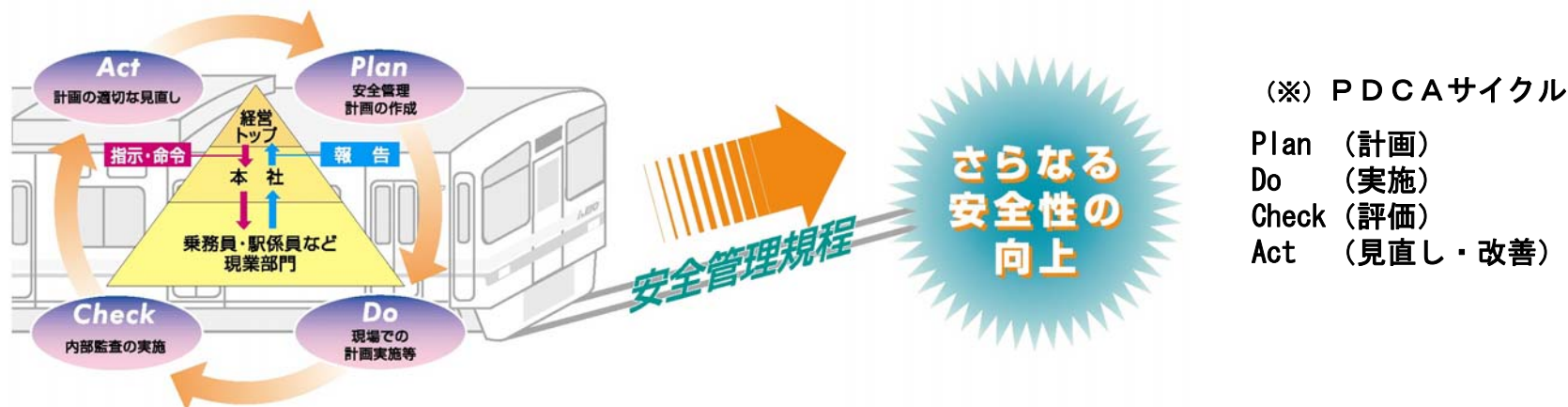
＜サービス向上・利便性向上（バリアフリー化の推進等）＞

＜環境対策（省エネルギー化の推進）＞

積極的な安全への取組み <運輸安全マネジメントの推進>

「責任事故ゼロ」の実現に向けた取組み

- ・ 輸送の安全確保に関するPDCAサイクル(※)を機能させ、事故の未然防止策を講じるなど、引き続き、運輸安全マネジメントを推進



(※) PDCAサイクル

Plan (計画)
Do (実施)
Check (評価)
Act (見直し・改善)

- ・ 実際の現場と同様の設備を備えた鉄道教習所を活用した教育を実施

ホーム訓練室

列車非常停止ボタンを実際に動作させ、異常時対応訓練などを実施



運転シミュレーター

乗務員養成や運転士・車掌訓練、異常時対応訓練などを実施



積極的な安全への取組み

<立体交差化の推進>

調布駅付近連続立体交差事業

2007年度の取組み実績

- ・ 駅部掘削工事の開始
- ・ シールドマシン（トンネル掘削機）の組立て完了

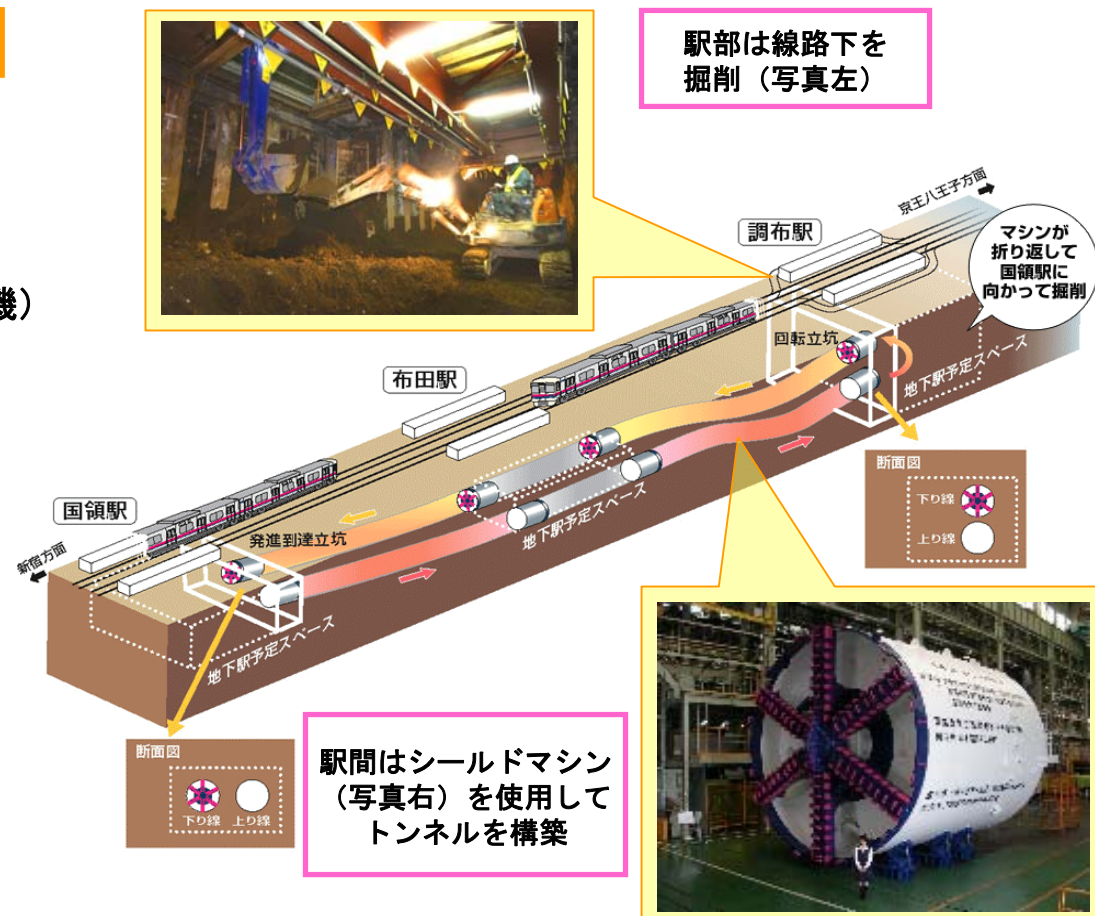
2008年度の施策

- ・ 駅部掘削工事の推進
- ・ シールドマシンによるトンネル掘進の開始
- ・ 調布駅仮橋上駅舎化（秋頃から使用開始予定）

2012年度の完成を目指す
地下化により18ヶ所の踏切を廃止

笹塚以西の鉄道立体化

代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業の認可・着手に向け、事業主体である東京都とともに都市計画変更手続きや環境影響評価のための調査設計を実施



積極的な安全への取組み <鉄道技術基準適合策の推進>

自動列車制御装置（ATC）の導入

- ・現在の自動列車停止装置（ATS）よりさらに安全性の高い信号システム（ATC）を導入
- ・京王線・井の頭線ともに**2010年度の完成**を目指す

2007年度の実績

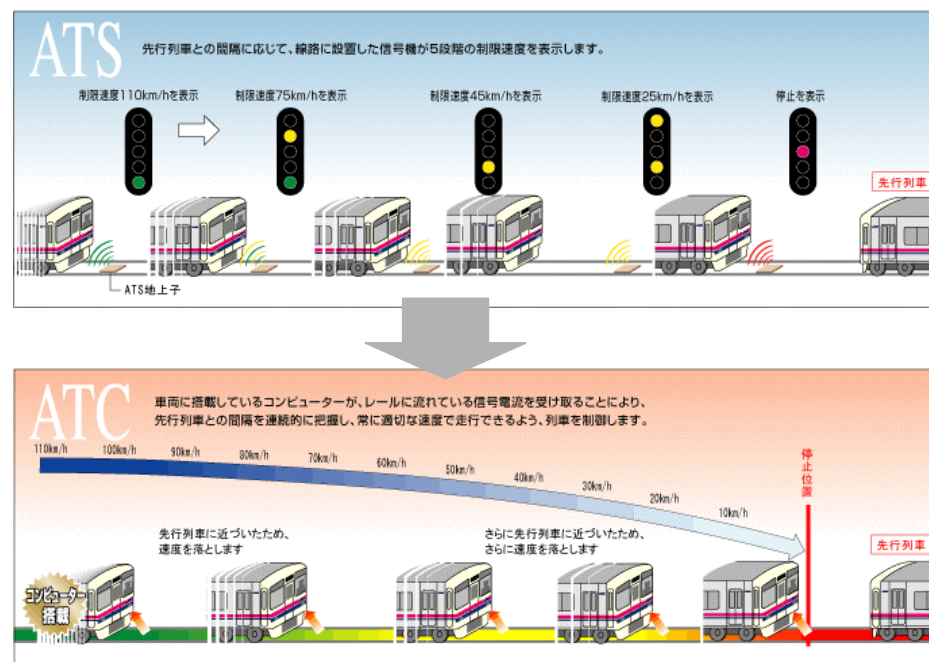
- ・国土交通大臣への認可取得
- ・地上装置の設置（ケーブル敷設）および車両改造に着手

2008年度の施策

- ・引き続き、ケーブル敷設および車両改造を推進
- ・相模原線ケーブル敷設完了

運転士異常時列車停止装置の整備完了

- ・運転士の体調が急変した場合など、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキがかかる装置を**2010年度までに全ての車両に整備完了**



積極的な安全への取組み < 駅施設・高架橋などの災害対策 >

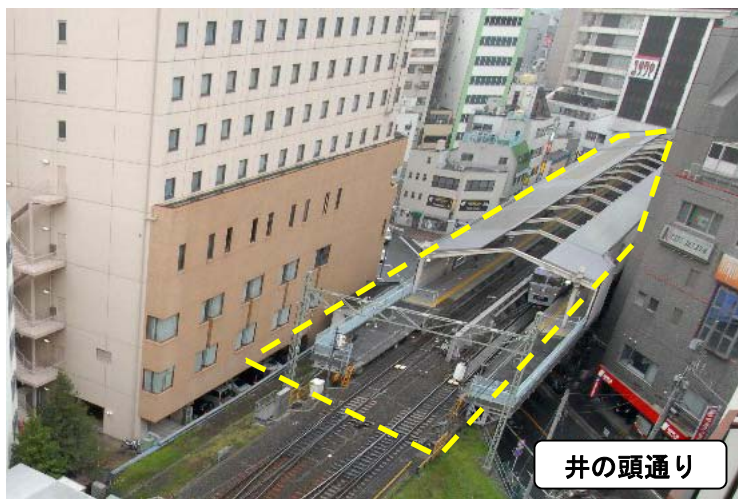
地下駅火災対策

- ・新宿駅 排煙設備および防火区画の新設
- ・幡ヶ谷駅 緊急避難階段の新設

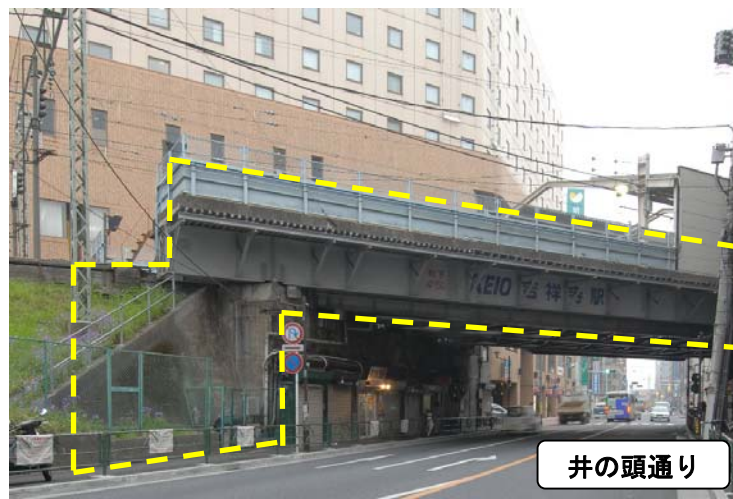
全ての地下駅火災対策
2008年度 完成予定

構造物の耐震性向上

- ・吉祥寺駅高架橋改築の推進 2010年度完成予定



吉祥寺駅高架橋全景



【Ⅱ－Ⅱ．鉄道事業における施策】

積極的な安全への取組み

サービス・利便性の向上 (バリアフリー化の推進)

環境対策



<車両の新造>

今後の車両の新造・改造予定

2008年度予定

バリアフリー化率 80%
省エネルギー化率 78%



2010年度予定

バリアフリー化率 100%
省エネルギー化率 100%

2008年度の施策

9000系 60両 (6編成) 代替新造
1000系 25両 (5編成) 代替新造

7000系 52両 バリアフリー化改造
32両 省エネルギー化改造

京王線

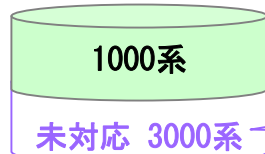


※バリアフリー対応
省エネルギー対応車両
を示す

バリアフリー・省エネルギー未対応
の7000系を改造

バリアフリー・省エネルギー未対応
の6000系を9000系に代替新造

井の頭線



バリアフリー・省エネルギー未対応
の3000系 (※) を1000系に代替新造



フルカラー液晶画面の
案内表示器を搭載した
京王線9000系車両

※ 3000系を代替することにより、すべての車両に運転士異常時列車停止装置の搭載が完了

2010年度までに全車両のバリアフリー化、省エネルギー化完了をはかります

サービス・利便性の向上（バリアフリー化の推進）

橋上駅舎化工事（自由通路・商業スペースを有した駅施設）



2007年度完成 西永福駅

2008年度予定 桜上水駅で完成、百草園駅・永福町駅などで着手



橋上駅舎化工事が完成した
西永福駅全景（写真左）
工事中の桜上水駅（写真右）

エレベーターの新設

2007年度設置 高尾駅（改札階～ホーム階）・長沼駅

2008年度予定 高尾駅（地上階～改札階）・京王片倉駅・山田駅

原則として2010年度までに全駅の段差解消をはかります

沿線価値向上策への取組み

<沿線活性化策の推進>

- 核拠点開発に向けた取組み
- 開発メニューの開拓・展開
- 新規ビジネスプランの実行
- 生活サポートサービスの展開
- 子育て支援事業の推進
- 沿線コミュニティサイト「街はぴ」の充実

<グループ事業競争力の強化>

- 生活関連事業の強化
- 沿線内外における事業の拡大
- グループカード戦略の展開

沿線活性化策の推進

＜核拠点開発に向けた取組み＞

吉祥寺地区（京王吉祥寺駅ビルの建替え）

これまでの経緯

- 1970年 吉祥寺エコビル竣工（地上8階、地下2階）
- 2004年 当社が吉祥寺エコビルを取得

2008年度取組み

- ・新ビルの基本設計・施工計画を立案

2010年度の建替え工事着手（予定）



京王吉祥寺駅ビル（現況）

聖蹟桜ヶ丘地区の活性化（グループ資産の有効活用）

2009年春の完成予定

- ・京王自動車営業所跡地に商業オフィスビルの建設を予定
- ・聖蹟桜ヶ丘駅高架下の活用を推進



京王自動車営業所跡地イメージ

沿線活性化策の推進

＜開発メニューの開拓・展開＞

「学生マンション事業」への参入

京王八王子駅近くの社有地を有効活用
沿線への若年層の取込み・定住化を促進
2008年5月着工、2009年3月末竣工
(ともに予定)

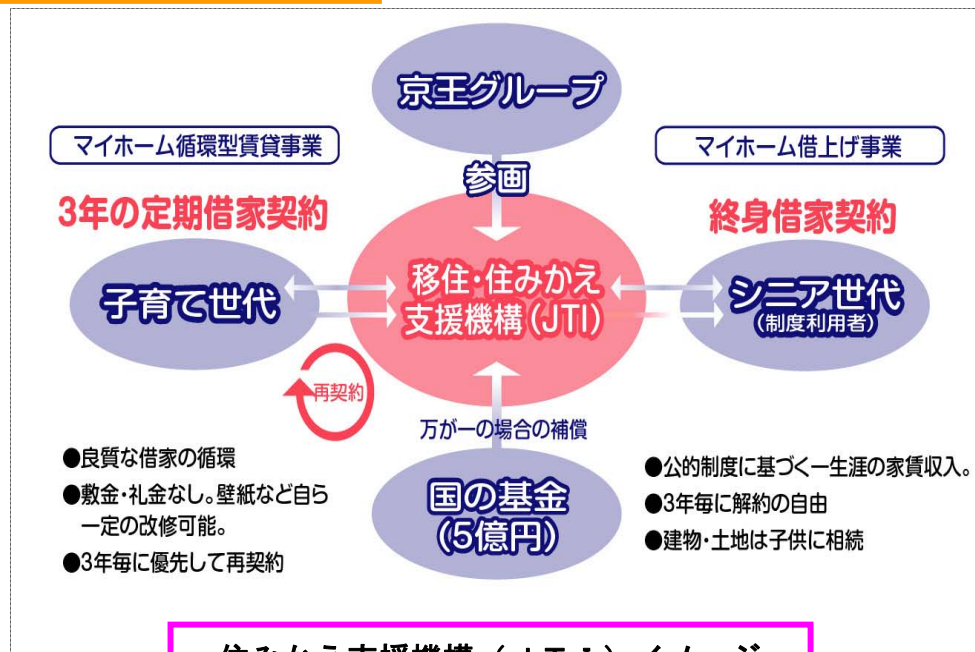
【建築概要】

規模	戸数
地上8階建	55戸

「移住・住みかえ支援機構（JTI）」を活用した取組み

「移住・住みかえ支援機構」に参加し、

- ・住宅ストック・世代の好循環を促進
- ・多様な世代が共存する街づくりによる沿線の活性化を推進



住みかえ支援機構（JTI）イメージ

沿線活性化策の推進

＜開発メニューの開拓・展開＞

（仮称）京王小滝橋マンション

2009年春の完成予定

京王百貨店小滝橋物流センター跡地に建設

【建築概要】

規模	戸数
地上10階建 地下1階	173戸

Hi-ROOMSの展開

優良な住居系賃貸物件の供給

建築家が企画・設計する賃貸デザイナーズマンション

【Hi-ROOMS物件一覧（現在工事中、予定も含む）】

物件名称	竣工	戸数
桜上水	2004年 8月	26
哲学堂	2006年 3月	17
方南町	2007年 1月	15
明大前	2008年 6月 完成予定	30
神泉	2008年 9月 着工予定	12 (予定)

延べ戸数
88



Hi-ROOMS明大前工事現況

沿線活性化策の推進



住んでもらえる選んでもらえる沿線づくり

高齢者世代が
生き生きと暮らせる街

子育て世代が
暮らしたくなる街

生活サポートサービス
(京王ほっとネットワーク)

子育て支援

宅配

保育所

家事代行

子育て支援マンション・
自治体との連携

住まいのメンテナンス

コミュニティ
(セミナー・相談会・それいゆ倶楽部)

沿線情報
(街はぴ・ほっとナビ)

PASMO・電子マネー
(商店街との連携)

住みかえ支援
(移住・住みかえ支援機構)

シニアレジデンス

中食



沿線活性化策の推進 <生活サポートサービスの展開>

京王ほっとネットワークの取組み

- ・ お客様や沿線住民のさまざまなニーズを収集し、暮らしに役立つサービスを提供
- ・ 地元企業やNPOなどとのネットワークを構築し、幅広いサービスを実現

2007年3月サービス開始

- ・ カウンターサービス
(地域案内)



- ・ 情報案内
(ほっとナビ)



- ・ コミュニティ
サービス
(セミナー・相談会・それいゆ倶楽部)



- ・ 宅配サービス



2007年11月サービス開始

住まいのメンテナンス 「住まいのサポートサービス」

増改築・リフォームから小規模修繕、不用品処分、庭木の剪定まで「住まいの困った」を解決



2008年4月サービス開始

家事代行 「ホームほっとサービス」

お客様に代わって水まわり掃除など日常清掃を中心とした家事をサポート



沿線活性化策の推進

<子育て支援事業の推進>

子育て支援事業の展開

これまでの取組み状況

- ・「京王キッズプラッツ多摩川」(※) 開設

2008年3月

- ・子育て支援賃貸マンション
「京王アンフィール高幡」 竣工

2008年3月

「日野市立子ども家庭支援センター」、「京王キッズプラッツ高幡」、
「京王キッズプラッツネクスト(幼児教室)」を併設

- ・「京王キッズプラッツ高幡」(※) 開設

2008年4月

2008年度の取組み

- ・「京王キッズプラッツ烏山」(※)

2008年9月予定

世田谷区が設置する「子育てステーション烏山」に開設

(※) いずれも東京都認証保育所、または認証申請予定

「京王キッズプラッツ」の運営は、(株)京王子育てサポートが行います



京王キッズプラッツ多摩川



京王アンフィール高幡

グループ事業競争力の強化 <沿線内外における事業の拡大>

大型宴会場コンコードボールルーム改装（京王プラザホテル）

- ・ 1984年以来の本格的改装
- ・ 2008年6月から約半年間かけて改装工事を実施
- ・ 総事業費 約17億円

コンコードボールルームの概要

広さ：1,320㎡（400坪） 最大収容数：1,360名

《 新宿地区最大 都内でも有数の大宴会場 》

改装のポイント

- ◆ 機能性・商品力を高め、競争力強化をはかる
 - ・ 3分割に加え2分割使用も可能となり、利用範囲が拡大
 - ・ LEDによる演出照明、300インチのスクリーン設置等設備が充実



コンコードボールルーム完成図
<写真上>ホワイエ、<写真下>宴会場

2008年12月1日 新装オープン

グループ事業競争力の強化 <沿線内外における事業の拡大>

京王プレッソインの展開状況

これまでの取組み状況

建替え3店舗の営業再開

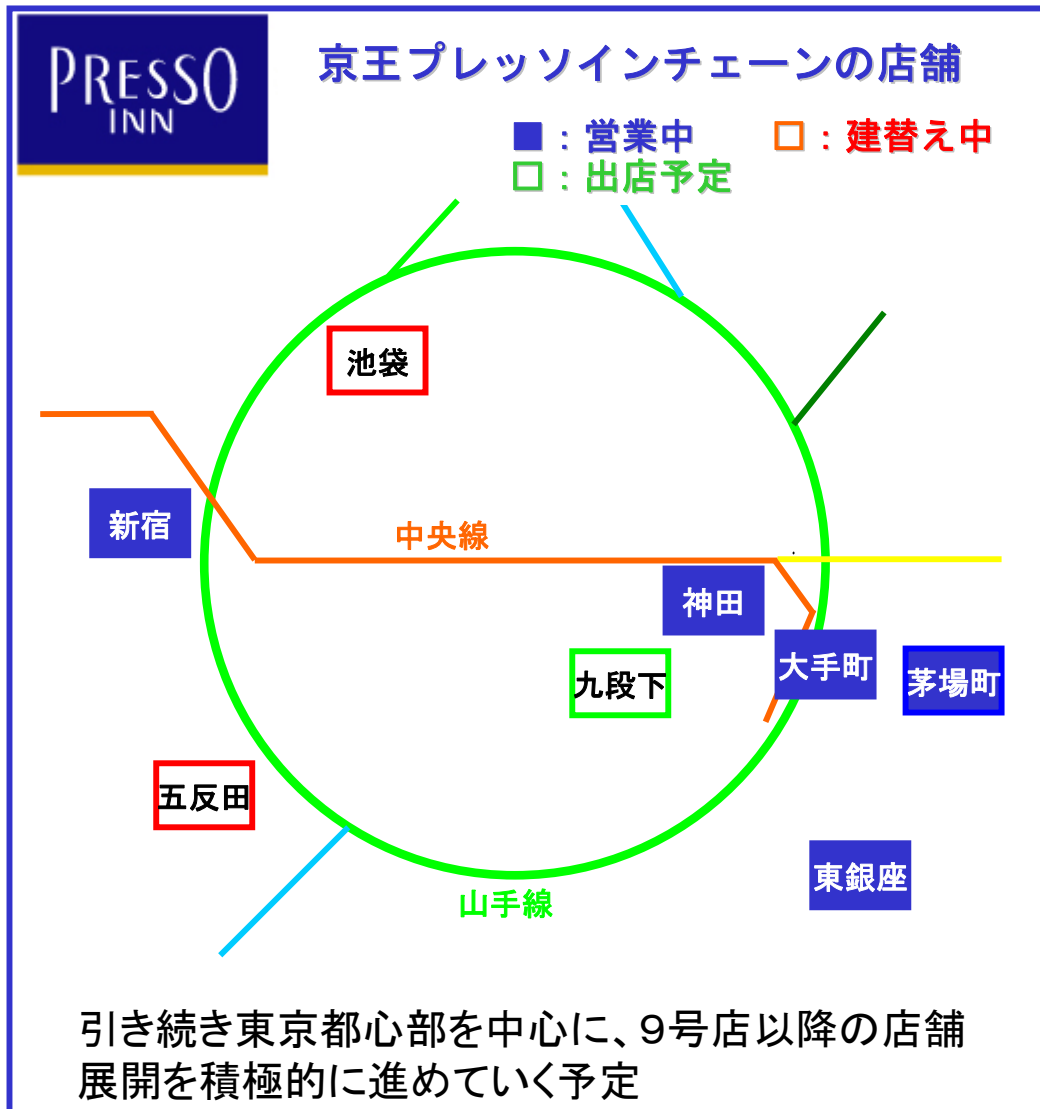
- ・茅場町 2008年3月20日 オープン
- ・五反田 2008年5月18日 オープン予定
- ・池袋 2009年春 オープン予定

今後の取組み

- ・九段下(8号店) 2009年夏 オープン予定



京王プレッソイン九段下
(完成予想図)

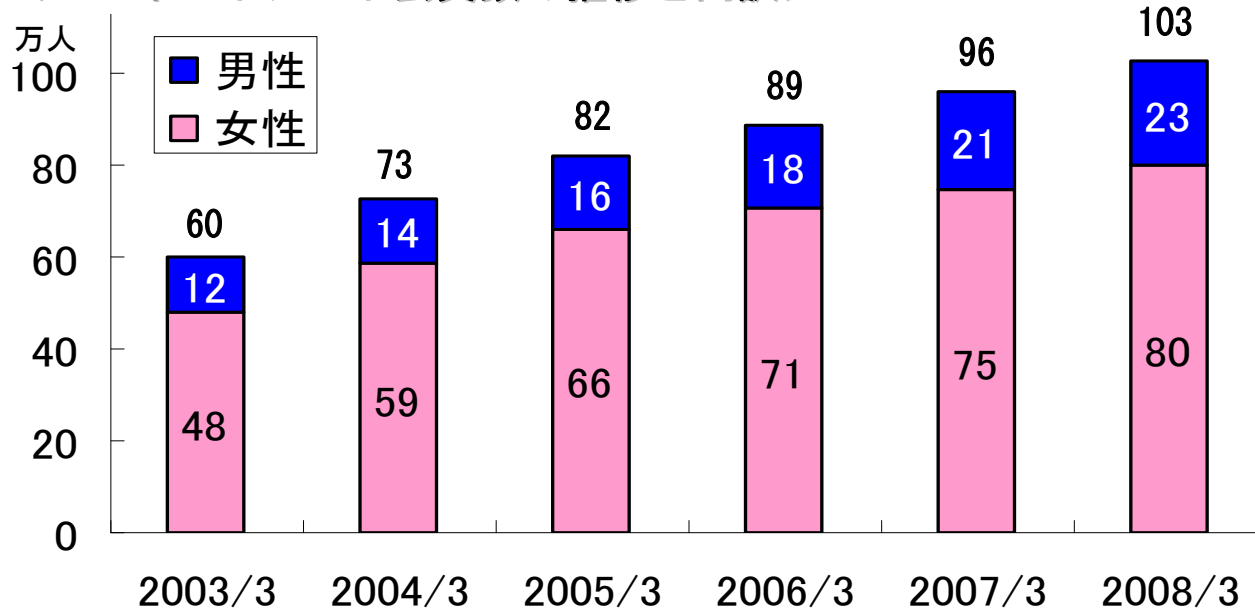


グループ事業競争力の強化 <グループカード戦略の展開>

「PASMO」とグループカードとの連携

- ・ 「PASMO」と「京王グループ共通ポイントサービス」との連携(乗りものポイントサービス)
- ・ 「京王パスポートカード」の会員数 100万人を突破 **2007年9月**
- ・ オートチャージサービスを拡充(金額設定変更・オートチャージ後付申込等) **2008年3月**

<パスポートカード会員数の推移と内訳>



PASMOとの連携により
男性顧客が増加

京王グループ共通
ポイントサービス開始

乗りものポイント
サービス開始

グループ事業競争力の強化 <グループカード戦略の展開>

PASMO「電子マネー」サービスの展開状況

- ・ 2008年3月15日よりサービスを開始
- ・ 京王沿線を中心とした商業施設や店舗等で利用できるよう加盟店の拡大を推進

2007年度の導入状況

導入箇所	導入数
A LoT(駅売店)、 K-Shop(ミニコンビニ)等	50店舗
カレーショップ「C&C」、 ドトール コーヒー等の飲食店	15店舗
京王ストア店舗	4店舗
飲料自動販売機等	約100台
笹塚・幡ヶ谷地区の商店街	約80店舗
導入箇所 計	約250箇所

2008年度以降（予定）

- ・ 駅売店・飲食店への導入拡大
- ・ 京王高幡SC、京王モール等のショッピングセンター
- ・ ベーカリー「ルパ」、「啓文堂書店」などの小売店



PASMO(電子マネー)の利用イメージ

Ⅲ. 2008年度の業績予想

連結設備投資額（セグメント別）

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	主要行使内容
運 輸 業	500	605	鉄道事業（安全性向上等）
流 通 業	34	53	
不 動 産 業	71	131	新規賃貸資産
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	49	66	
そ の 他	10	6	
（ 連 結 修 正 ）	△ 8	△ 7	
合 計	657	857	

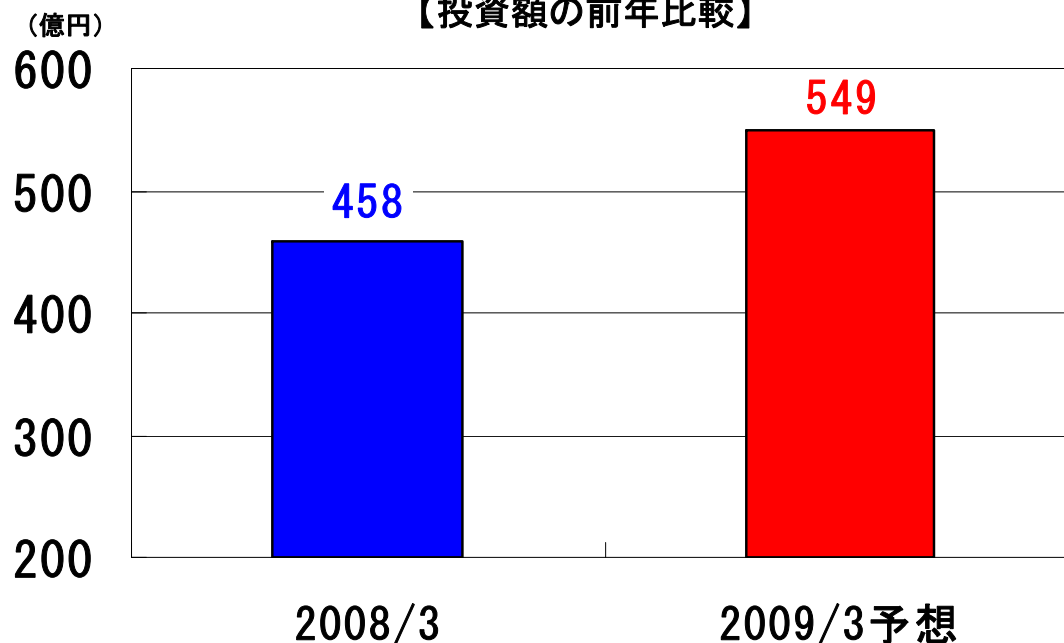
※ 上記の設備投資額は、資本的支出の金額を記載している。

鉄道事業投資額

〈単位：億円〉

項目	2008/3	2009/3予想	増減	増減率 (%)
安全性向上	380	433	53	14
サービス向上	66	100	34	51
環境対策・その他	11	15	4	42
合計	458	549	91	20

【投資額の前年比較】



- 主な安全性向上投資**
- ・ 自動列車制御装置 (ATC) 導入
 - ・ 車両代替新造
 - ・ 調布駅付近連続立体交差事業

1. 連結損益計算書

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
連結営業収益	4,291	4,280	△ 11	△ 0.3 [%]
連結営業利益	419	336	△ 83	△ 19.9
連結経常利益	388	298	△ 90	△ 23.3
連結当期純利益	181	162	△ 19	△ 10.6
連結EBITDA	723	671	△ 52	△ 7.2

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	△ 5億円	△ 15億円	+ 4億円	+ 9億円	+ 6億円
(営業利益)	△ 56億円	△ 8億円	△ 1億円	△ 10億円	△ 10億円

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。
 2. 事業セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

主な業績の変動要因

[連結営業収益・営業利益]

<運輸業－減収減益> ○（鉄道事業） 共通ICカード乗車券導入の反動減設備投資に伴う減価償却費の増

<流通業－減収減益>

<不動産業－増収減益>

<レジャー・サービス業
－増収減益> ○（ホテル業） 新規店舗の開業

<その他－増収減益>

[連結当期純利益]

- （特別利益） 特定都市鉄道整備準備金取崩終了
- （特別損失） 減損損失の減

2. 事業セグメント別の営業収益

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
運 輸 業	1,324	1,319	△ 5	△ 0.4 [%]
流 通 業	1,901	1,886	△ 15	△ 0.8
不 動 産 業	237	242	4	1.9
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	738	748	9	1.3
そ の 他	554	561	6	1.2
小 計	4,756	4,759	2	0.1
(連 結 修 正)	△ 464	△ 479	△ 14	—
合 計	4,291	4,280	△ 11	△ 0.3

3. 事業セグメント別の営業利益

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
運 輸 業	195	139	△ 56	△ 28.8 [%]
流 通 業	70	62	△ 8	△ 12.0
不 動 産 業	90	89	△ 1	△ 1.3
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	46	36	△ 10	△ 22.6
そ の 他	26	16	△ 10	△ 40.6
小 計	429	345	△ 84	△ 19.6
(連 結 修 正)	△ 9	△ 8	1	—
合 計	419	336	△ 83	△ 19.9

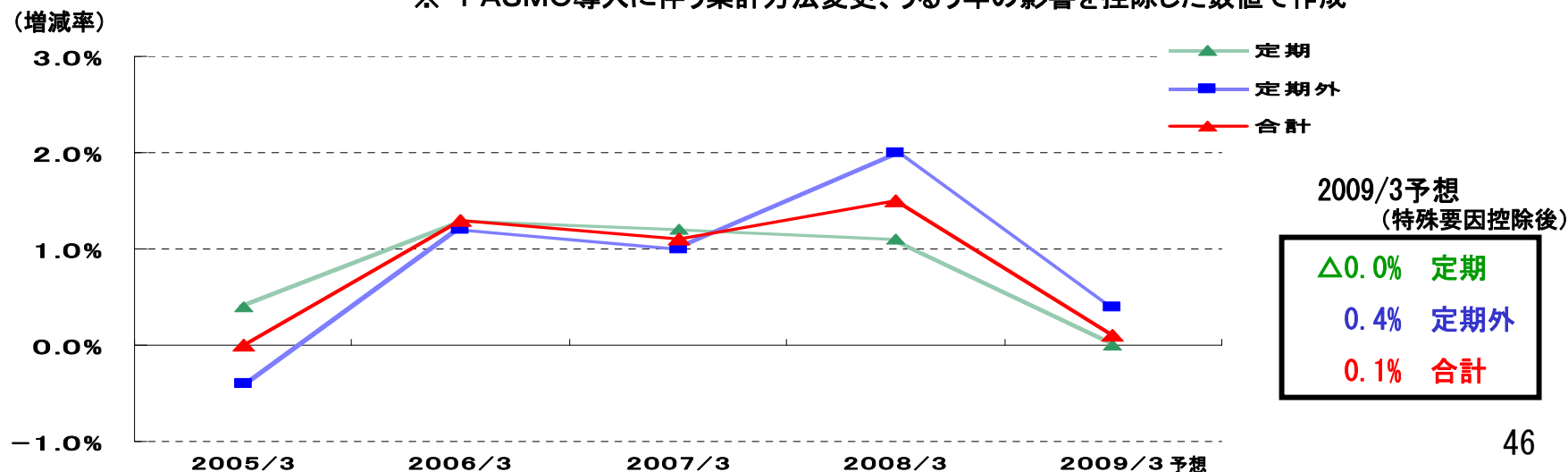
鉄道事業輸送人員

<鉄道事業輸送人員>

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	363,097	359,498	△ 3,599	△ 1.0
（通勤）	272,275	271,322	△ 953	△ 0.4
（通学）	90,822	88,176	△ 2,646	△ 2.9
定期外	269,291	269,395	104	0.0
合計	632,388	628,893	△ 3,495	△ 0.6

<対前年増減率の推移>

※ PASMO導入に伴う集計方法変更、うるう年の影響を控除した数値で作成

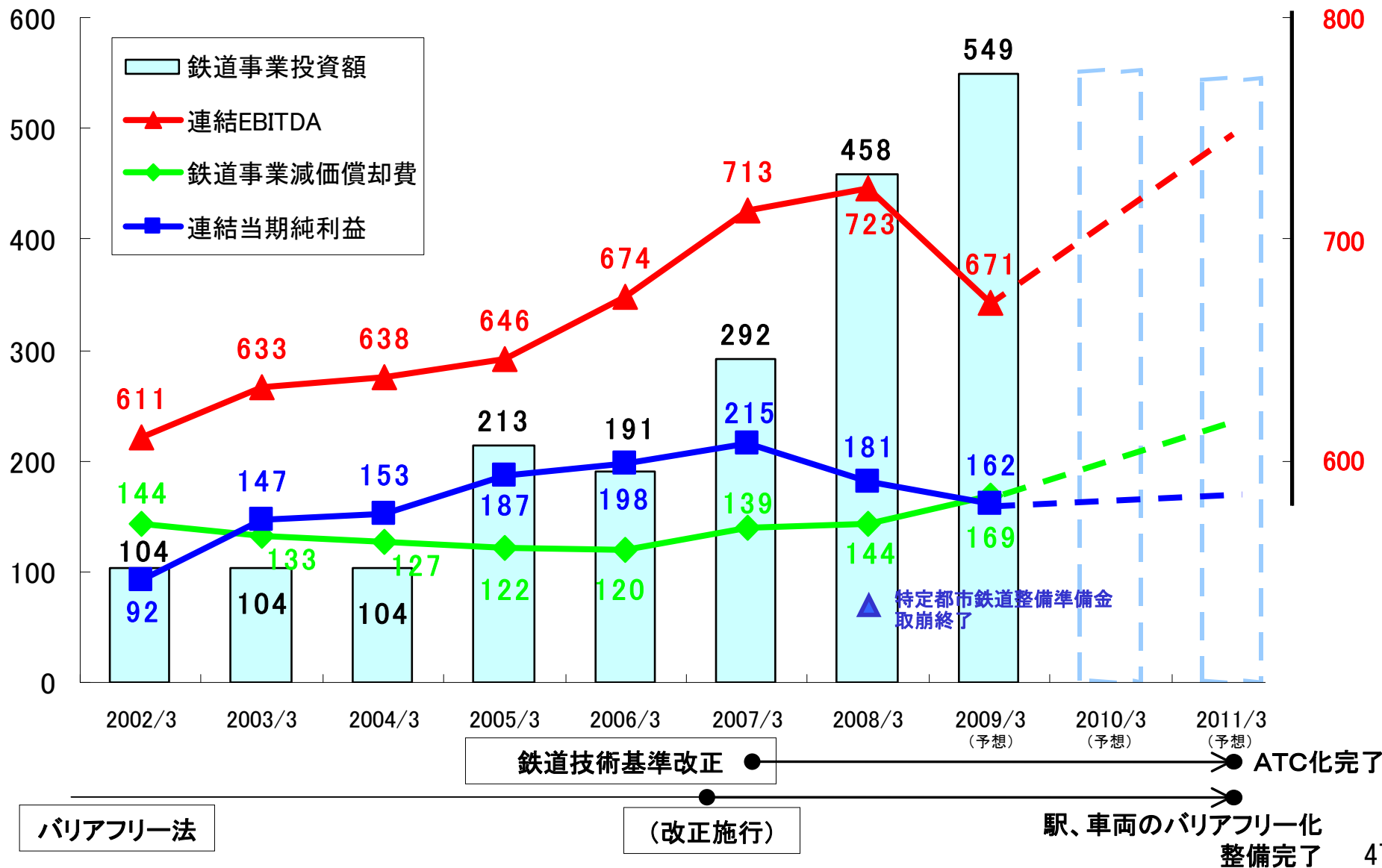


【Ⅲ－Ⅲ. 2009・2010年度の予想】



〈単位：億円〉

鉄道事業投資、連結利益の推移





このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

【連絡先】

京王電鉄株式会社

総合企画本部 経理部

久保 田口

PHONE : 042-337-3135

FAX : 042-374-9810